

# 山東横浜ゴム工業製品有限公司 CSRレポート

事業内容: コンベヤベルトの製造販売  
敷地面積: 50,000m<sup>2</sup>  
従業員数: 290人  
所在地: 山東省濰坊市臨朐県

**相談・苦情などの受付窓口:**

人事総務課 TEL: 0536-334-3576 FAX: 0536-334-3515  
メールアドレス: wflqwenti@yahoo.com.cn



## 社長ご挨拶



張 玉荀

当社は2006年1月に、山東躍馬膠帶有限公司と横浜ゴム(中国)有限公司の合併会社として、中国山東省のほぼ中央、青島市から車で3時間の臨朐県に設立されたコンベヤベルトの生産販売会社です。

環境に関しては、年々中国も環境対策への関心が高まりつつありますが、中国随所で見られる大気汚染など、経済・工業の発展に環境対策が追いつかないといった状況下、ベルトユーザーからも環境関連商品への注目度が高まっています。

このような中国市場において当社は、「環境貢献ベルト」ということで、パイプコンやエコベルトなど環境に優しいベルトを市場に投入し中国市場で拡販すべく取り組んでいます。このような活動の結果として、最近ベ

ルト業界では、クリーンで高品質な最新鋭の日系合併企業として位置付けられ、政府関係者の視察も頻繁に実施される注目度の高い会社となってきています。

さらに、2011年度に引き続き、2012年9月15日に「千年の杜 第二回植樹会」を開催し、当地に於ける「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトを進めています。

安全に関しては、2012年6月に第1回「全社防災訓練」を開催し、地元消防署の指導の下で避難訓練と消化訓練を実施致しました。また11月には横浜ゴム安全衛生推進室による「安全診断」を受け、さらなる安全対策と共に社員の安全に対する意識の向上により現在まで無災害を継続しております。

これからも、地域社会に貢献するトップレベルの環境貢献企業を目指して邁進したいと考えております。

## 安全健康な職場環境

### 労働安全衛生

毎月安全環境会議を開催し、他工場災害事例報告、工場パトロール、環境報告等を行っています。全40チームに及び安全分科会を発足(2010年11月～)し、各班毎週ヒヤリハット&不安全作業を摘出、対策を展開することで、一人一人の安全意識が大きく向上しています。また2012年11月に横浜ゴム安全衛生推進室による「安全診断」を受け、指摘された項目については1カ月以内に改善しました。

### 従業員の教育・訓練

優科豪馬橡膠有限公司(Y-CH)による幹部に対しての研修も実施し、リーダーシップ、順法精神の教育を実施しました。

### 災害時の対応

6月15日に「第一回 全社防災訓練」をリンチュウ県安全局、消防署の立会い指導の下で実施致しました。当日は全社員参加の下で、消化訓練、避難訓練、怪我人の救護の訓練を行い、災害発生時の対応に備えています。

## 環境経営の推進

### 環境方針

#### 基本理念

我々は、地球環境を保全する重要性を十分認識し、全ての経営事業において、積極的に環境保護活動、地球温暖化防止に取り組み、環境経営を継続的に推進し、持続発展可能な循環・節約型社会への変換に貢献する。

#### 環境方針

- (1) 環境に関する法律やルールを遵守します。
- (2) 環境保護を重要課題とし、EMSで管理します。
- (3) 環境保全に関する方針や教育を全ての社員と地域で共有化します。
- (4) エネルギーの節約、廃発生量の低減、再利用活動の推進、など環境負荷低減に率先して取り組みます。ゼロエミッションを実現します。
- (5) 最良の環境貢献企業となることを目的とする、YRC日本の中期計画としての環境GD(グランドデザイン)100活動を推進します。
  - I. 継続的に我々の環境経営を改善してゆきます。
  - II. 地球温暖化防止を推進してゆきます。
  - III. 持続可能な循環型社会実現に貢献します。

### 環境データ

項目	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	
廃棄物発生量(t)	681	639	777	129	213	
埋立率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算:kl)	電力	895	1,188	1,433	1,495	1,459
	燃料	34	3,235	4,388	3,819	3,846
	合計	929	4,423	5,821	5,309	5,305
温室効果ガス排出量(千t-CO <sub>2</sub> )	2.1	13.9	18.5	16.6	16.7	

※年度:1月～12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。



## 環境経営の推進

### 環境マネジメント

2011年度に引き続き2012年も環境事故、環境ヒヤリ、ゼロを達成しました。

### 騒音、振動、臭気について

周辺地域住民からの苦情はありませんでした。



## 製品・サービスの安全と品質

### 消費者とのコミュニケーション

会社幹部が定期的にユーザー訪問を行い、製品使用状況や要望事項などの意見をお聞きする交流会を実施しています。

### 苦情などへの対応

12年4月より「アフターサービス課」を設立し、専門員が苦情対応と現場指導を実施しています。



## 人権・労働慣行

### 人権教育

教育は特に実施していませんが、年末に「全社演芸大会」を開催し、社員同士のコミュニケーションを図り、「和諧(調和)」の精神を育むような活動をしています。

### 障がい者雇用

現在まで採用実績はありませんが、受け入れに問題は無く、差別もありません。

### 男女平等の推進

待遇面など、男女で差別することは、全くありません。



## 取引先との信頼関係

### 汚職に関する方針

購買部では相見積もりや入札の実施、発注関門の設置(他部門、会計課、経営幹部)の確認行為(サイン)無しでの発注行為ができない仕組み等により発注時の不正行為を防止しています。

### サプライヤーから横浜ゴムへの要望や意見

サプライヤーから、特に新たな要望等はありませんでした。



## ステークホルダーコミュニケーション

### 地域社会とのかかわり

千年の杜、全社運動会への参加を呼びかけましたが、8月中旬からの「反日運動」の影響により、地域活動を大きく制限せざるを得なくなりました。

### 工場見学のご案内

お客さまが当社へ訪問していただいた際は、その都度計画実施しています。また家族・地域住民をお呼びして工場見学の計画もありましたが、「反日運動」の影響で中止と致しました。



## コーポレートガバナンスとコンプライアンス

### コンプライアンス教育

12年6月にリンチュウ県公安による「法律教育」を開催し、全社員が受講しました。

### 汚職を予防するための方針

地元公安による「法令順守教育」により、社員の「順法」意識を高める活動を実施しています。